

DMG森精機株式会社

2020年度第3四半期(1-9月)決算説明資料

2020年11月6日

1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. デジタル・リアルマーケティング強化

4. ESG/CSRへの取り組み

- ✓ 全社受注2,065億円(前年同期比 36%減)、第2四半期を底に回復
- ✓ 1台当り受注金額 前年度比4%増
- ✓ 欧州: デジタルイベント(10月)、中国: 天津工場オンラインオープンハウス(10月)
- ✓ 日本: DMG MORI オンラインテクノロジーデイズ = DX (11月16日~11月27日開催)
テクノロジーフライデー = リアル
- ✓ ハイブリッド資本 370億円 (8月31日) : 9月末株主資本比率 28%
ハイブリッド資本 330億円調達(10月29日) : 10月末株主資本比率 36%
- ✓ 2021年以降 DMG MORI グループ製品 CO₂ニュートラルへ

(億円)	1-9月		増減 (%)	通期 (1-12月)	
	2019年	2020年		2019年実績	2020年予想
全社受注	3,211	2,065	-35.7%	4,094	-
売上収益	3,493	2,344	-32.9%	4,858	3,300
営業利益	286	62	-78.2%	373	100~110
営業利益率	8.2%	2.7%		7.7%	3.0%~3.3%
金融収支	-44	-40		-59	-50
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-26)	(-26)		(-35)	(-31)
税引前利益	242	23	-90.6%	315	50
当期利益	156	0		189	15~30
親会社所有者帰属利益	153	0		180	15~30
償却費(リース含む)	168	174		231	235
設備投資額	130	106		212	150
配当金 (円/一株)	30	10		60	20
USD/JPY	109.2	107.6		109.1	107
EUR/JPY	122.7	120.9		122.1	121

10-12期想定レート : USD/円 105
EUR/円 120

損益分岐点売上高

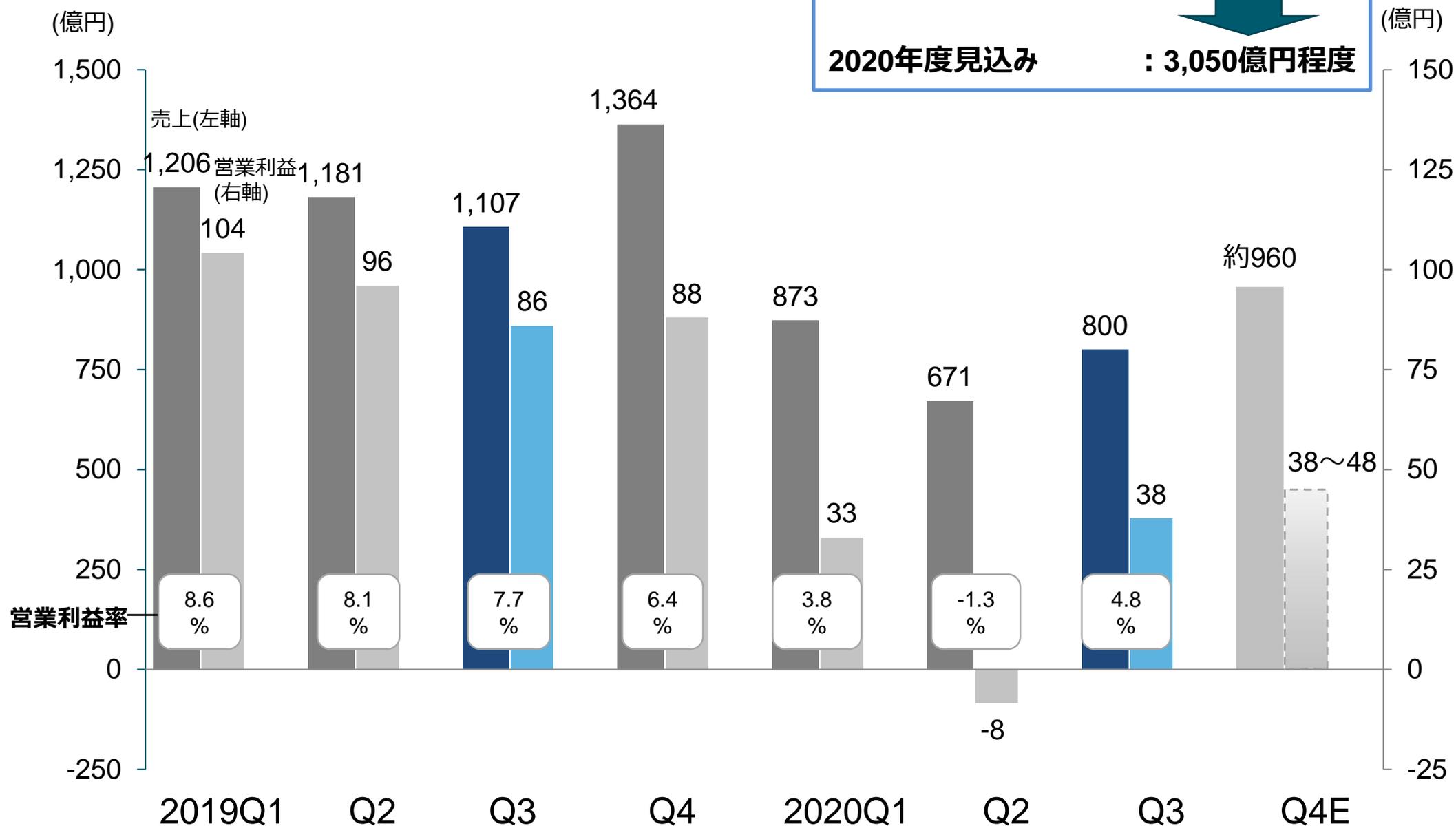
2019年度

: 3,850億円



2020年度見込み

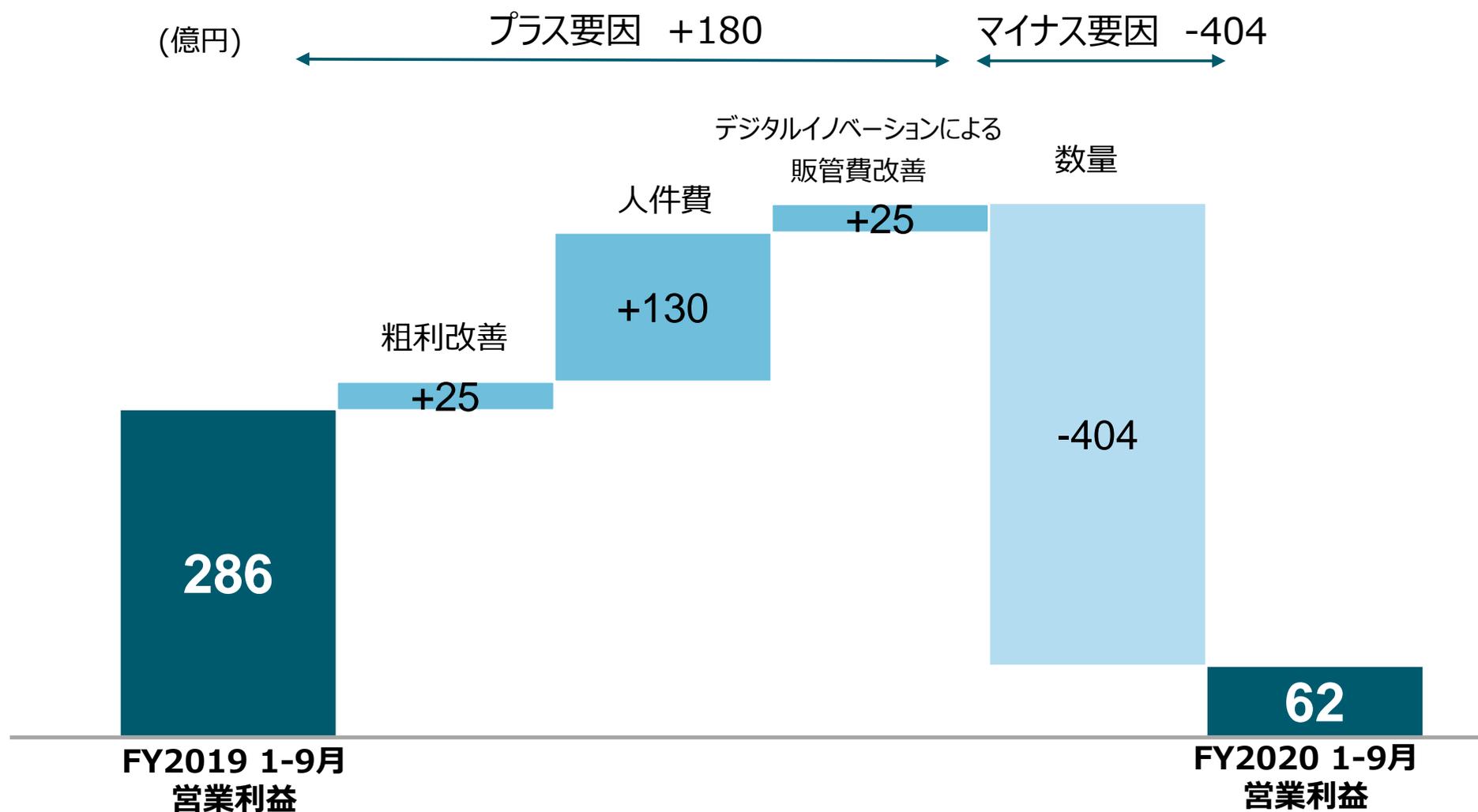
: 3,050億円程度



営業利益増減分析 2019年度第3四半期累計 vs 2020年度第3四半期累計

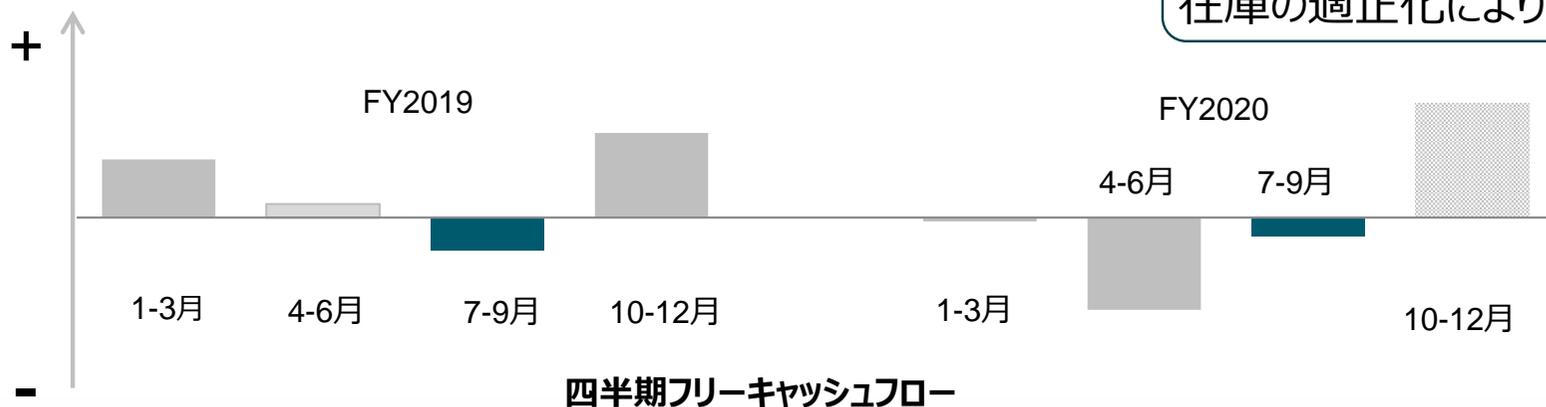
(億円)	FY2019.1-9月	FY2020.1-9月	増減
売上高	3,493	2,344	-1,150

為替レート:	USD/円	FY2019.1-9月 109.2	FY2020.1-9月 107.6
	EUR/円	122.7	120.9



(億円)	FY2019					FY2020				
	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1	Q2	Q3	Q4 (計画)	FY (計画)
営業キャッシュフロー	130	38	43	225	436	25	-109	-5	239	150
税引前四半期利益	88	82	71	74	315	13	-18	28	27	50
償却費	55	53	59	64	231	59	57	58	61	235
運転資本増減	35	-48	-51	22	-42	44	-106	-54	72	-45
その他	-48	-49	-36	65	-68	-90	-42	-37	79	-90
投資キャッシュフロー	-36	-16	-96	-87	-235	-31	-39	-25	-55	-150
(うち有形・無形資産取得支出)	-31	-53	-43	-85	-212	-29	-41	-35	-	-
フリーキャッシュフロー	94	22	-52	137	201	-6	-149	-31	184	0

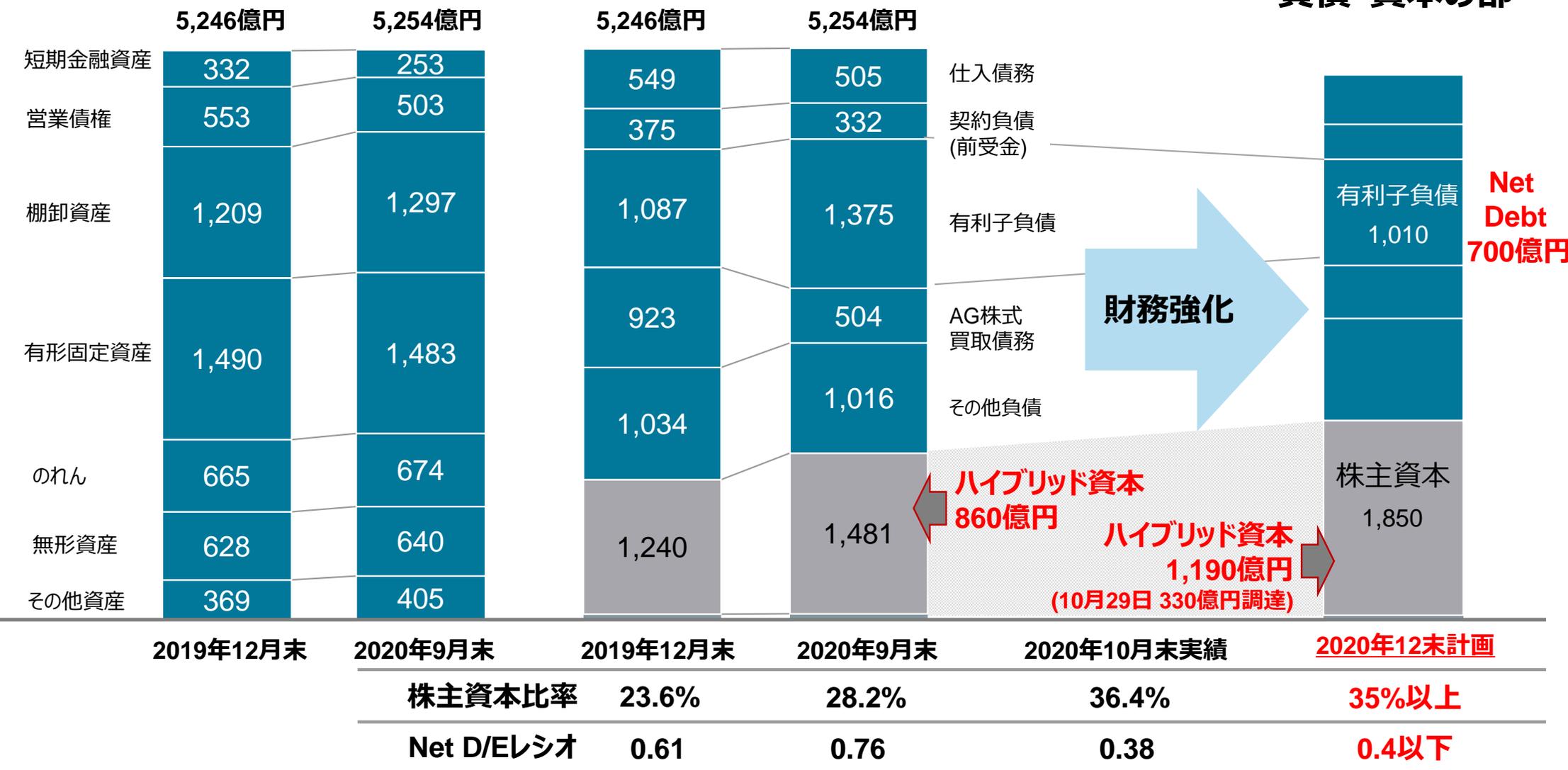
売上債権の早期回収
在庫の適正化により大幅改善



資産の部

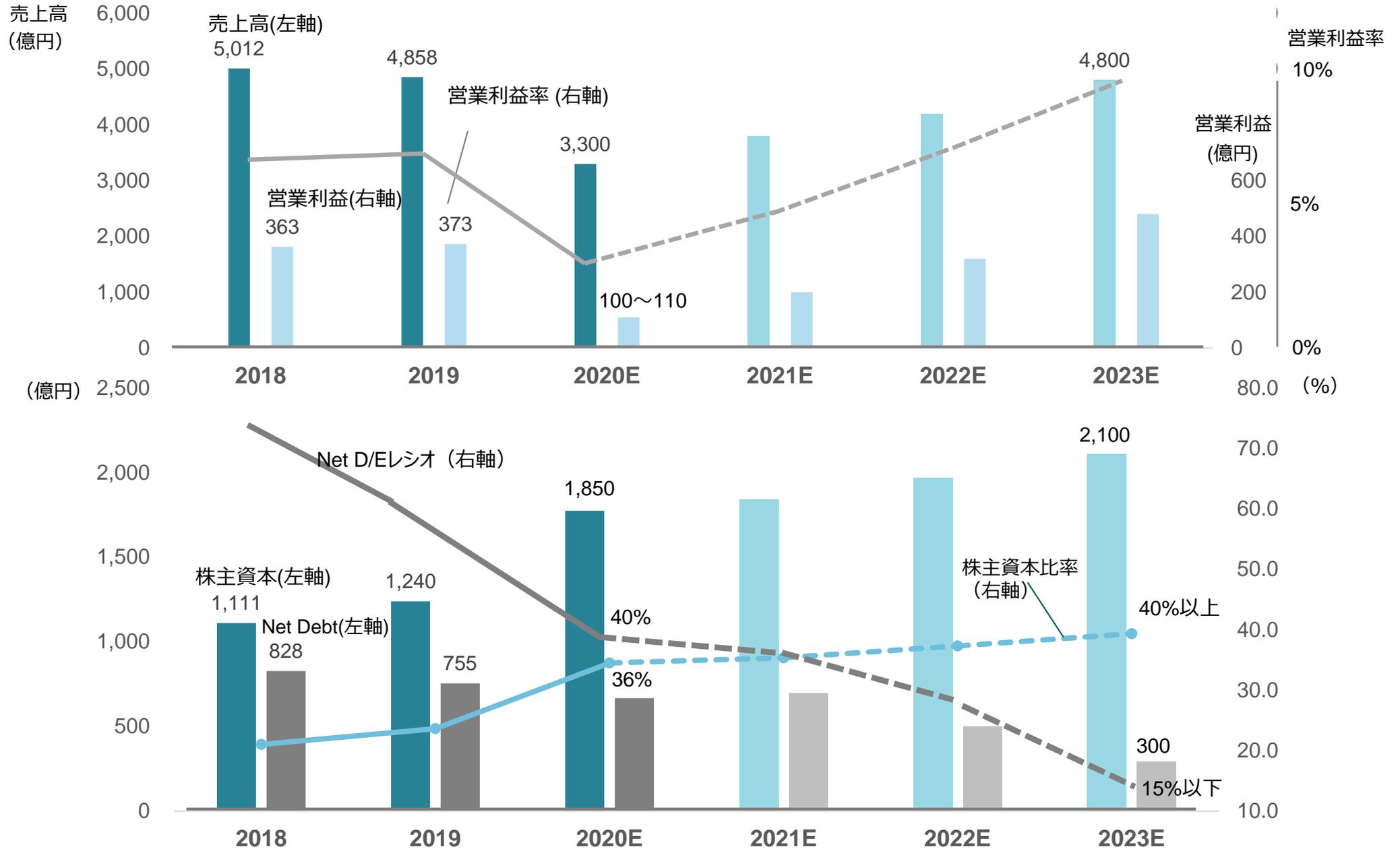
負債・資本の部

負債・資本の部



* ハイブリッド資本700億円によるコスト増年間12億円 - 営業外費用減年間12億円(DPLTAの支払減) = 追加的負担ゼロ

次期3年の事業見通し



AG株主の株式買取価格及び年間経済補償に対する裁判所への不服申し立てが結審し、AG株式の買取請求が生じない場合

株主資本比率はさらに約5%ポイントアップ

1. 第3四半期決算概要

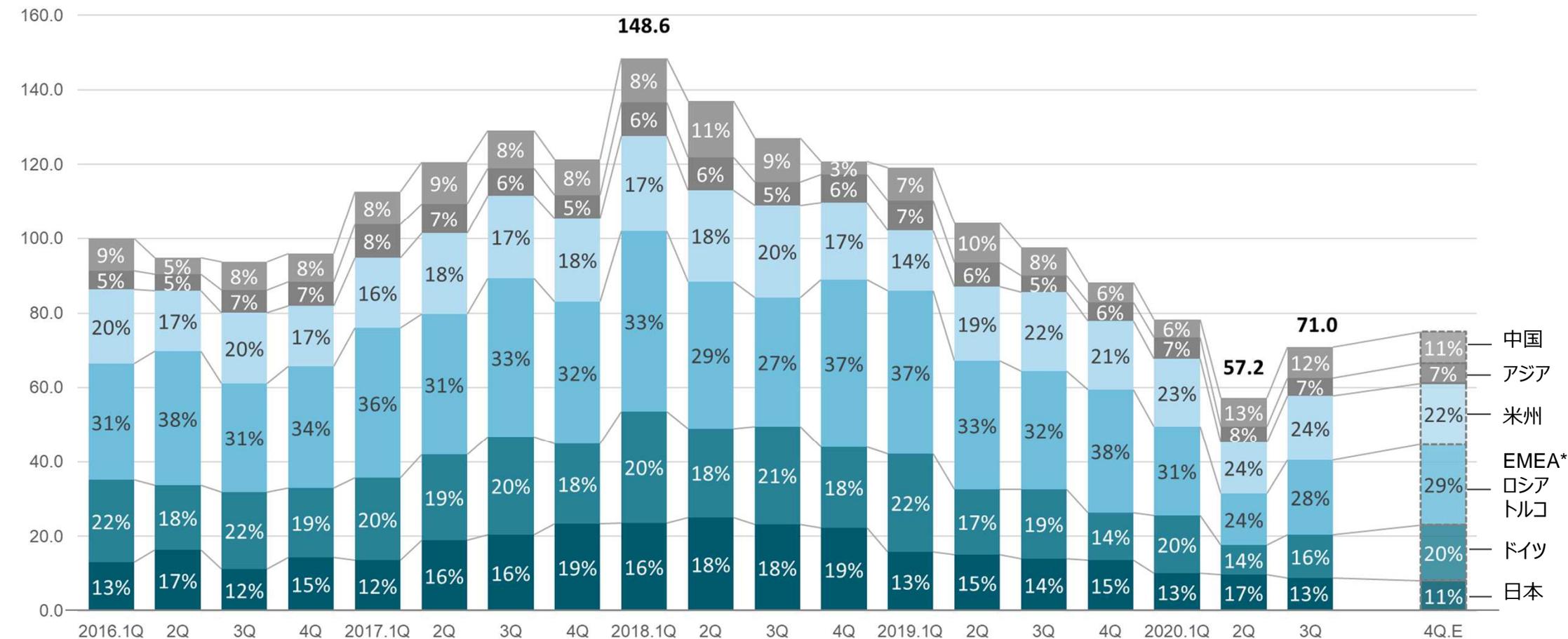
2. 事業環境

3. デジタル・リアルのマーケティング強化

4. ESG/CSRへの取り組み

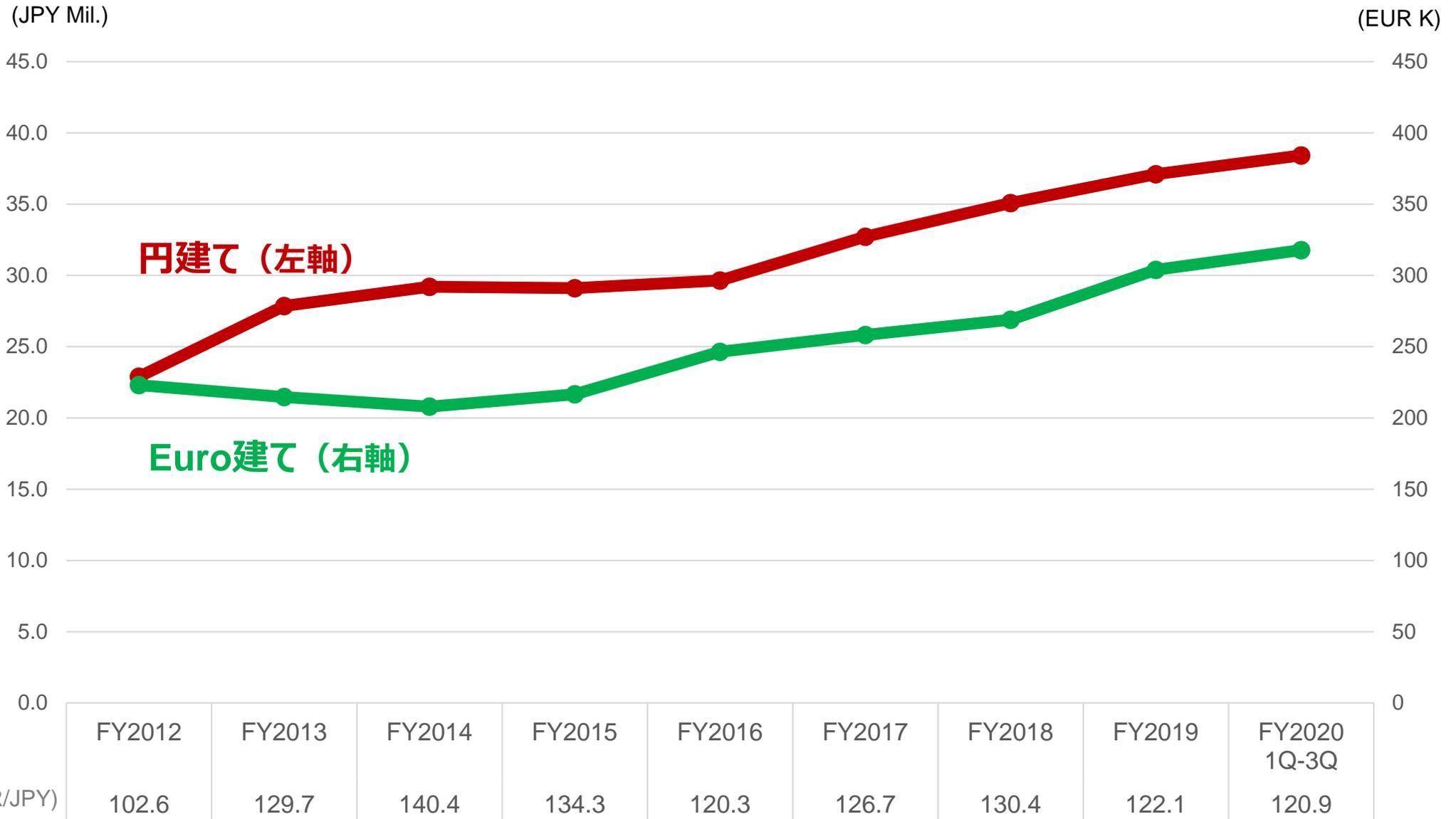
地域別受注構成 (連結受注)

(10億円)



*Europe, the Middle East and Africa

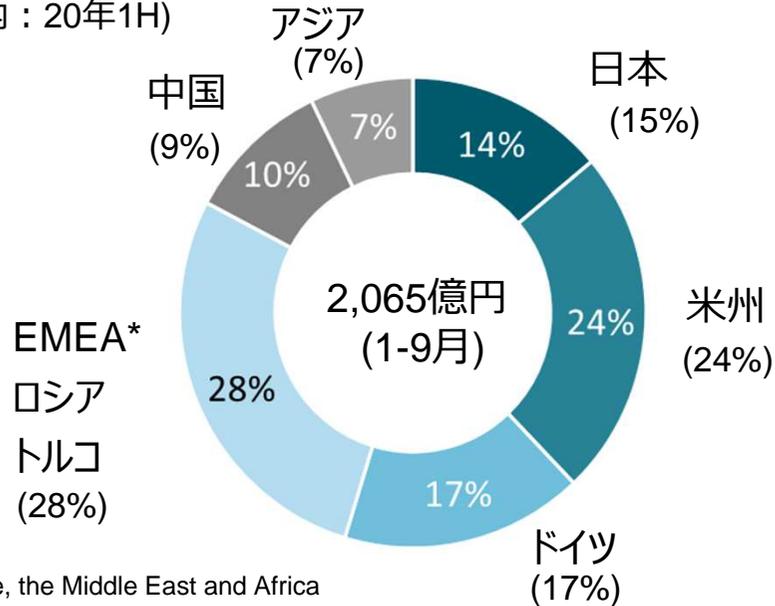
1台あたりの機械受注単価推移



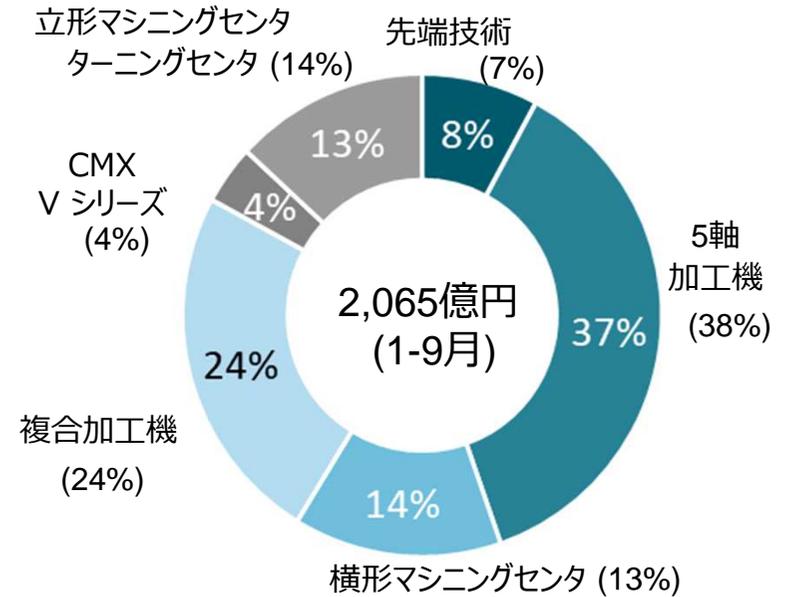
連結受注構成 (1月-9月)

地域別

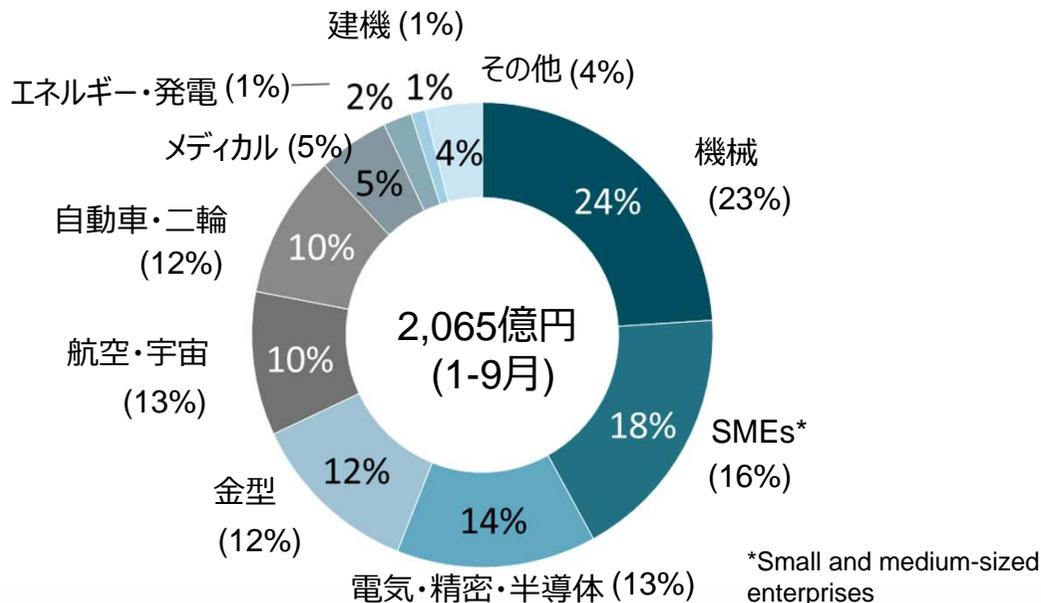
(カッコ内：20年1H)



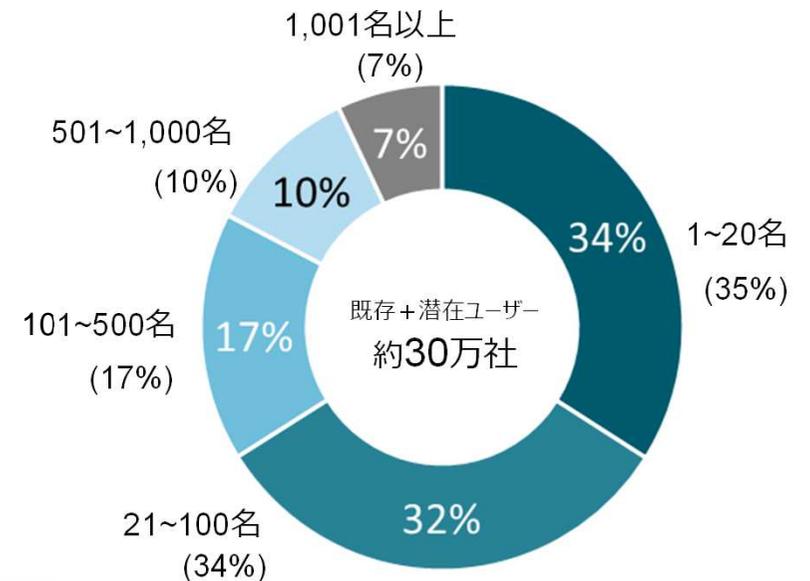
機種別



業種別



規模別



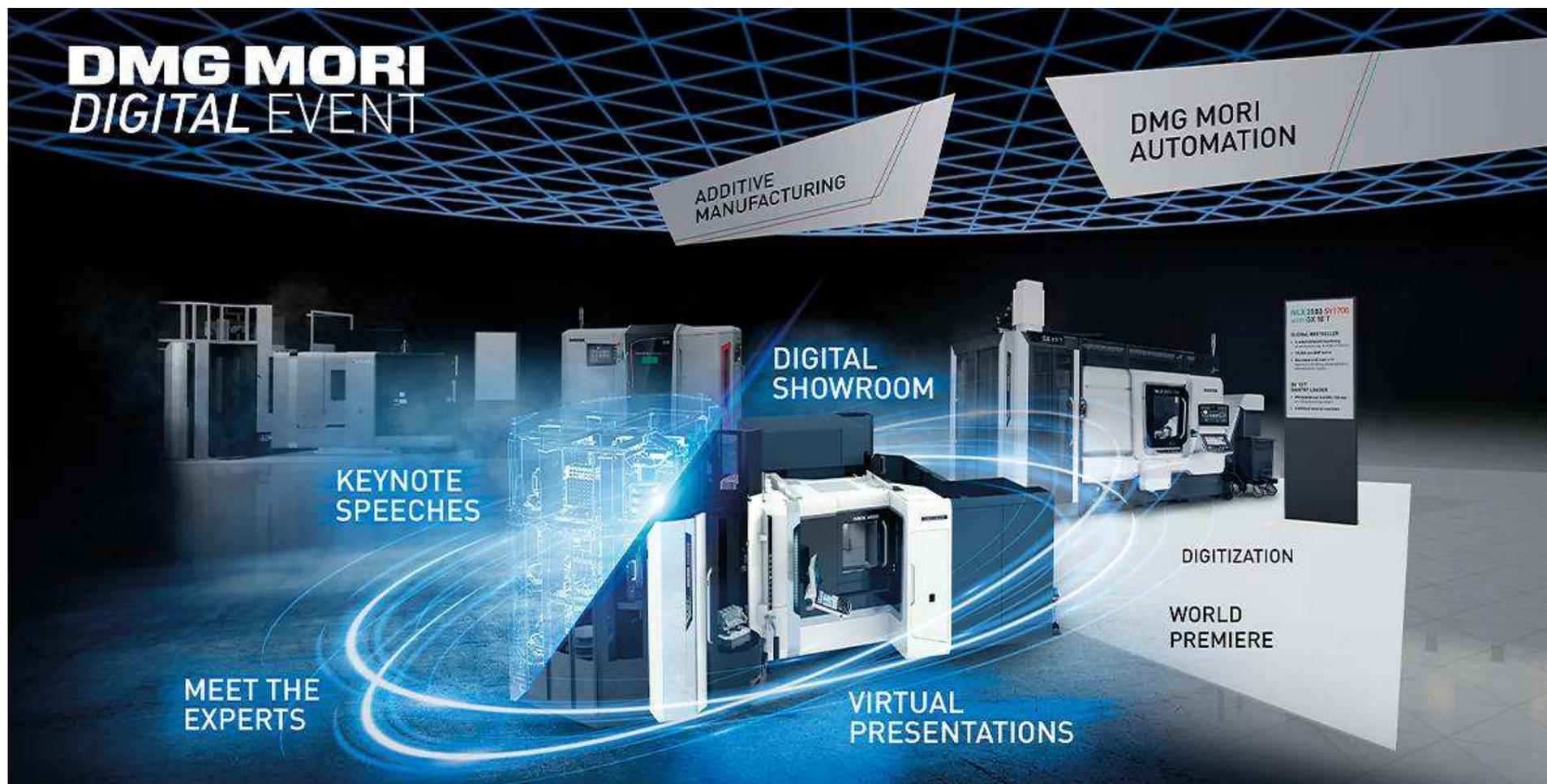
1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. デジタル・リアルマーケティング強化

4. ESG/CSRへの取り組み

- ✓ 10月6日-9日開催 製品とソリューションをデジタルで体験できる仮想プラットフォーム
- ✓ 最新技術のライブ配信、ライブチャットで相互コミュニケーション
- ✓ デジタルショールーム：新製品発表 (DMF 200|8)、17製品、自動化ソリューション



天津工場オンラインオープンハウス：中国工場⇒中国向け

DMG MORI

- ✔ 10月16日オンラインで開催
- ✔ テーマ：天津工場紹介、NHXシリーズ、CMX Vcシリーズ、自動化ソリューション等
- ✔ アクセス数：約61,400件
- ✔ オンライン上でお客様との双方向の対話



自動化ソリューション



天津工場見学



天津工場 製品紹介



アプリケーションエンジニアリング

DMG MORI

天津工厂开放日现场直播 邀请函

精益求精 传承百年工匠精神

- 严格按照标准调试机床，为您提供高品质的机床
- 专注严谨的制作工艺，为您带来非凡的机械美感
- 细节决定成败，态度决定未来



DMG MORI 天津工厂始终与您并肩同行
携手共襄未来

参与活动赢取精美礼品

- 活动期间注册会员，前50名可获得精美礼品（先到先得）
- 发送观看直播照片并写下观看直播感想或截图直播间互动照片，至 mkt.china@dmgmori.com 领取精美礼品

扫描下方二维码
参与活动及会员抽奖





直播期间参与抽奖活动
还有机会获得 DMG MORI 提供的
华为笔记本电脑
LOPWEI 瑞士军刀等礼品

✓ JIMTOF2020 Online

開催日 : 11月16日(月)10時~11月27日(金)17時
 アーカイブ : 11月27日(金)17時~12月11日(金)17時



出典:JIMTOF2020 Online ウェブサイト
<http://www.jimtof.org/online/jp/booth.html#site>

✓ DMG MORI オンラインテクノロジーデイズ

開催日 : 11月16日(月)10時~11月27日(金)17時

デジタルツインショールーム



オンラインセミナー

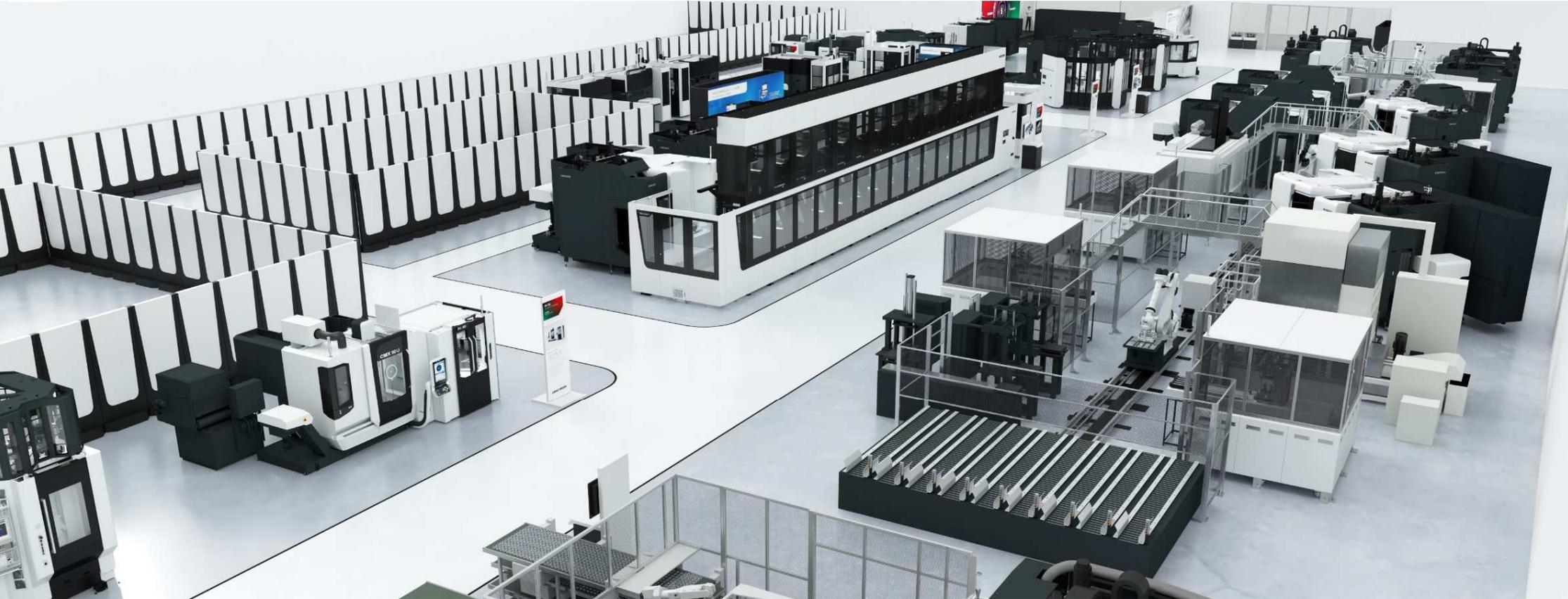


新製品ステージ

オンライン技術相談



✔ システムソリューションセンタを新設 30 台 / 16 システム



✔ デジタルヒューマンがデジタルツインショールームを案内

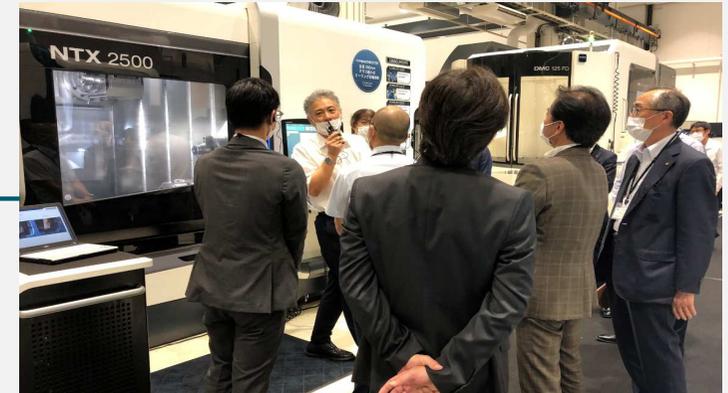


☑ 毎週金曜日 伊賀および東京で少人数開催

☑ 5軸化・複合化、自動化、デジタル化
週替わりセミナー
実演加工
工場見学



伊賀事業所



東京グローバルヘッドクォータ

18回 / 約550名

(10月末時点)

18回 / 約350名

(10月末時点)

my DMG MORI



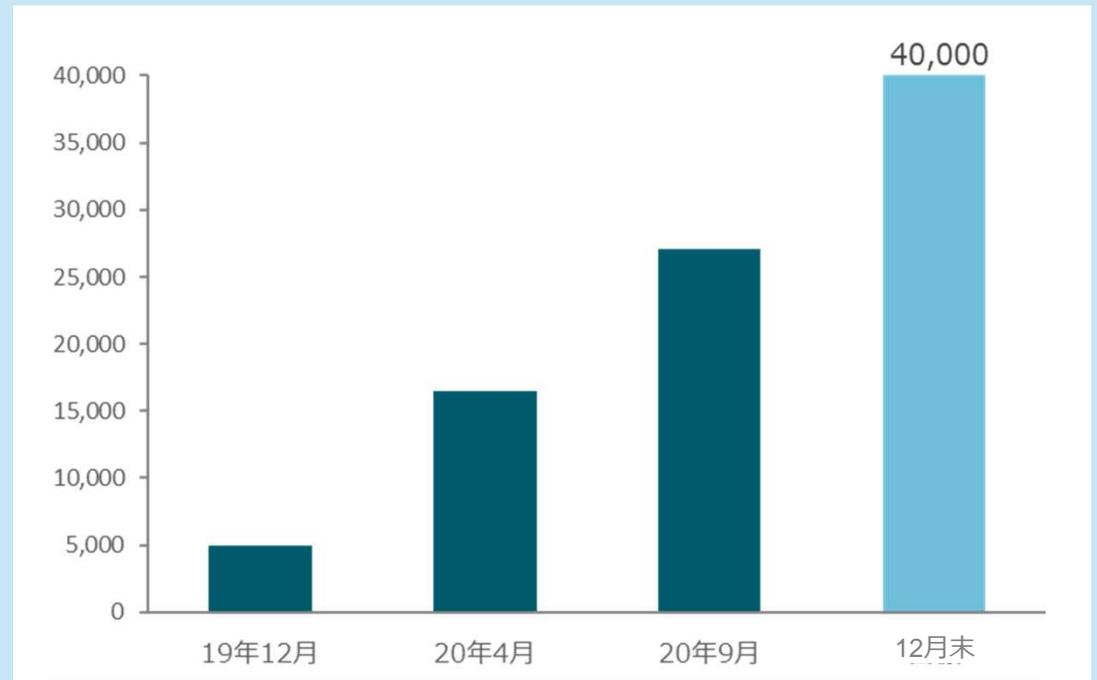
DMG MORIオーナー様
専用ウェブサービス



登録件数

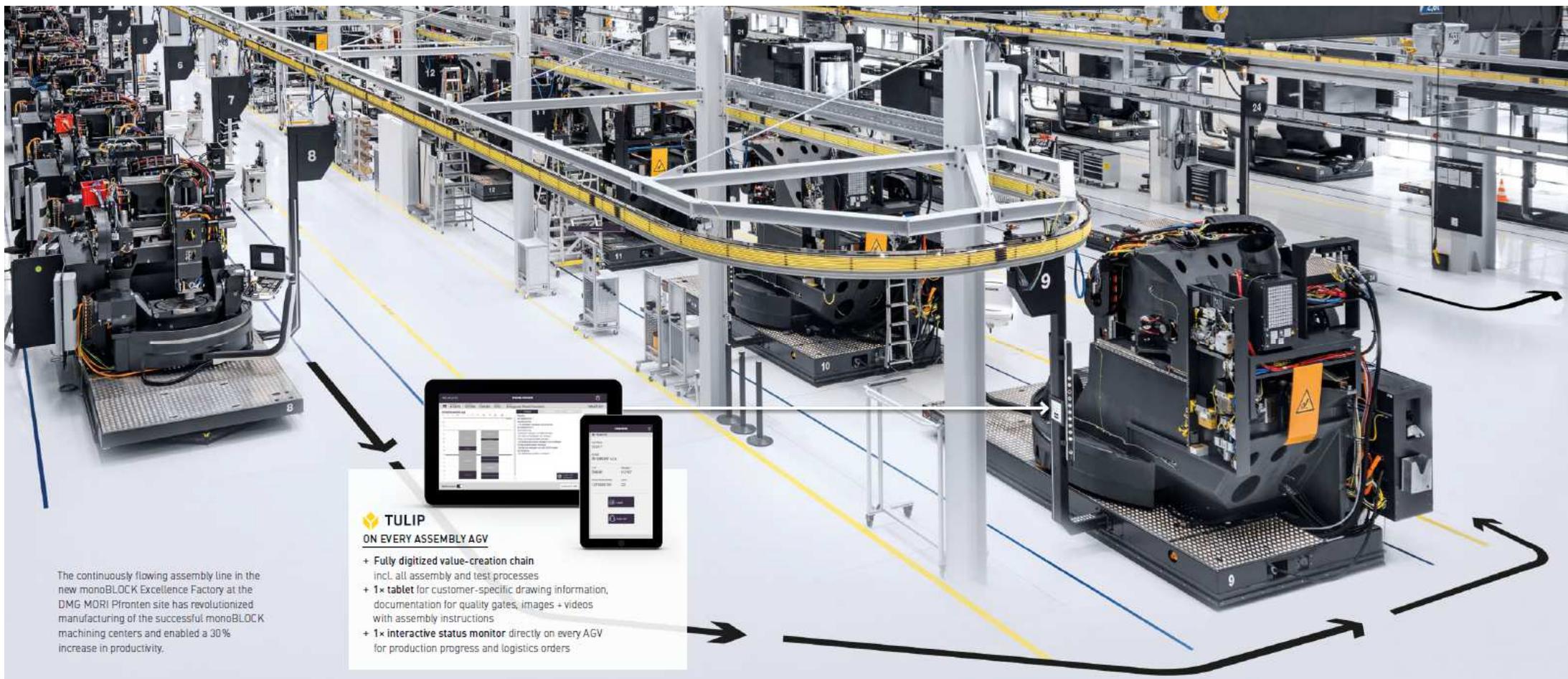
欧州	約17,000件
日本	約11,000件
米州	約 1,000件 (9月開始)
アジア (インド、シンガポール、マレーシア、オーストラリア)	約 1,000件 (9月開始)
中国	DMG MORI We Chat Club 約7,000件

12月末
40,000ユーザー



☑ monoBLOCK excellence factory稼働開始

- フロンテン工場内に、4,000m²の新工場完成
- monoBLOCKを年産1,000台可能
- AGV、Tulipを導入し、生産性30%向上



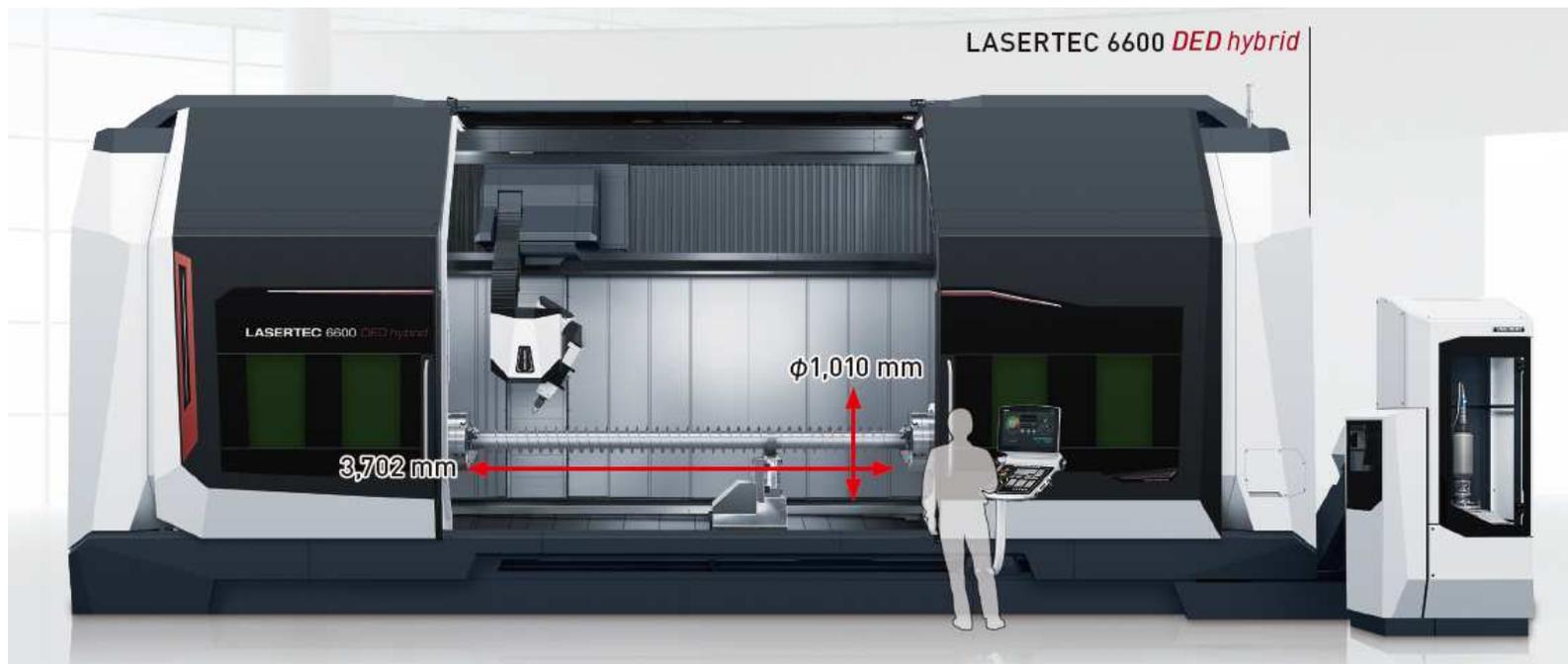
The continuously flowing assembly line in the new monoBLOCK Excellence Factory at the DMG MORI Pfrenten site has revolutionized manufacturing of the successful monoBLOCK machining centers and enabled a 30% increase in productivity.

TULIP

ON EVERY ASSEMBLY AGV

- + Fully digitized value-creation chain
incl. all assembly and test processes
- + 1x tablet for customer-specific drawing information, documentation for quality gates, images + videos with assembly instructions
- + 1x interactive status monitor directly on every AGV for production progress and logistics orders

- ① 大きな 積層造形領域 (最大積層ワークサイズ $\Phi 1,010 \times 3,702$ mm)
- ② 金属積層造形技術と切削加工のハイブリッド
- ③ 充実したメンテナンス機能



(注) DED : Direct Energy Depositionの略

サンプルワーク



航空宇宙

ロケットノズル



機械産業

ローラ<コーティング>



真空技術産業

フランジ・パイプ<コーティング>

1. 第3四半期決算概要

2. 事業環境

3. デジタル・リアルのマーケティング強化

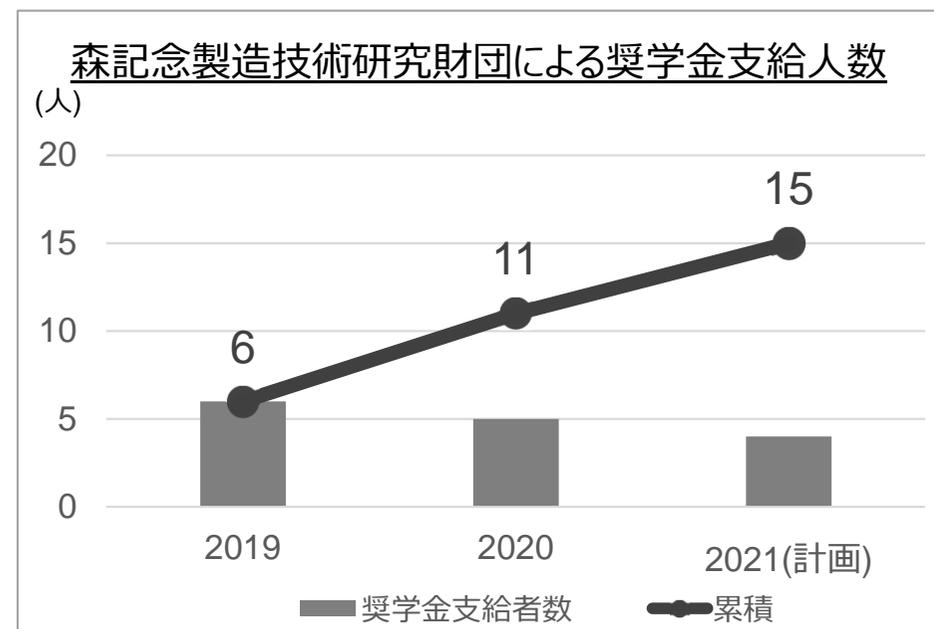
4. ESG/CSRへの取り組み

◆人材育成助成事業

- ・京都大学寄附講座「デジタル設計生産学講座」
精密計測加工研究コンソーシアム
工学研究科マイクロエンジニアリング専攻
教授 松原 厚 先生
- ・京都大学大学院 総合生存学館（思修館）
- ・後期博士課程支援給与型奨学金の支給
- ・ベルリン日独センター
「ヤングリーダーズフォーラム」



一般財団法人 森記念製造技術研究財団
Mori Manufacturing Research and Technology Foundation



目的：加工業界全体の技術・技能の交流と向上のため、
2004年よりDMG森精機が開催

対象：加工業に携わり、切削型工作機械、先端加工機を
使用している企業・学校・研究機関



✔ デジタルツインショールームにて応募全作品（55点）を紹介

✔ 11/10 受賞作品 発表



ドリームコンテストエリア



DMG MORI オンラインテクノロジーデイズ

伊賀 まほろばファーム

MAHOROBA
DMG MORI VINEYARDS

- ・耕作放棄地の利用
- ・障がい者雇用促進 (5名募集開始)



「株式会社 坂ノ途中」との提携

- ・小規模農業支援
- ・社員の健康促進 (伊賀・奈良・名古屋の食堂で不揃いだが美味の野菜を提供)



伊賀事業所 花火大会

- ・地域住民との交流



新堂駅付近のまちづくり

奈良県大和郡山市および

三重県伊賀市へ桜の植樹 500本



音楽活動支援

アドルフォ・バラビーノ氏
(イタリア)



反田恭平氏
(日本)



2021年

2022年

Scope 3上流までのCO₂ニュートラル達成 

サプライチェーン全体のCO₂ニュートラル達成 

AG社：2021年1月

CO社：2021年3月末

2022年中

(**全社**)

※ Scope 1～ Scope 3上流まで

- 自社でのCO₂直接・間接排出
- 原材料調達に関連するCO₂排出

※ Scope 3下流

- 製品ユーザでのCO₂排出



100% CLIMATE NEUTRAL MACHINE MANUFACTURING

MACHINE UTILIZATION

NEUTRAL PRODUCT CARBON FOOTPRINT 



NEUTRAL COMPANY
CARBON FOOTPRINT 



MORE EFFICIENT
ENERGY AND EMISSIONS
MACHINE OPERATION



TECHNOLOGY
EXCELLENCE FOR
GREEN TECHNOLOGIES

SUPPLIERS + **DMG MORI**

CUSTOMERS

伊賀事業所: 木質バイオマス熱電併給システム (CHP)導入

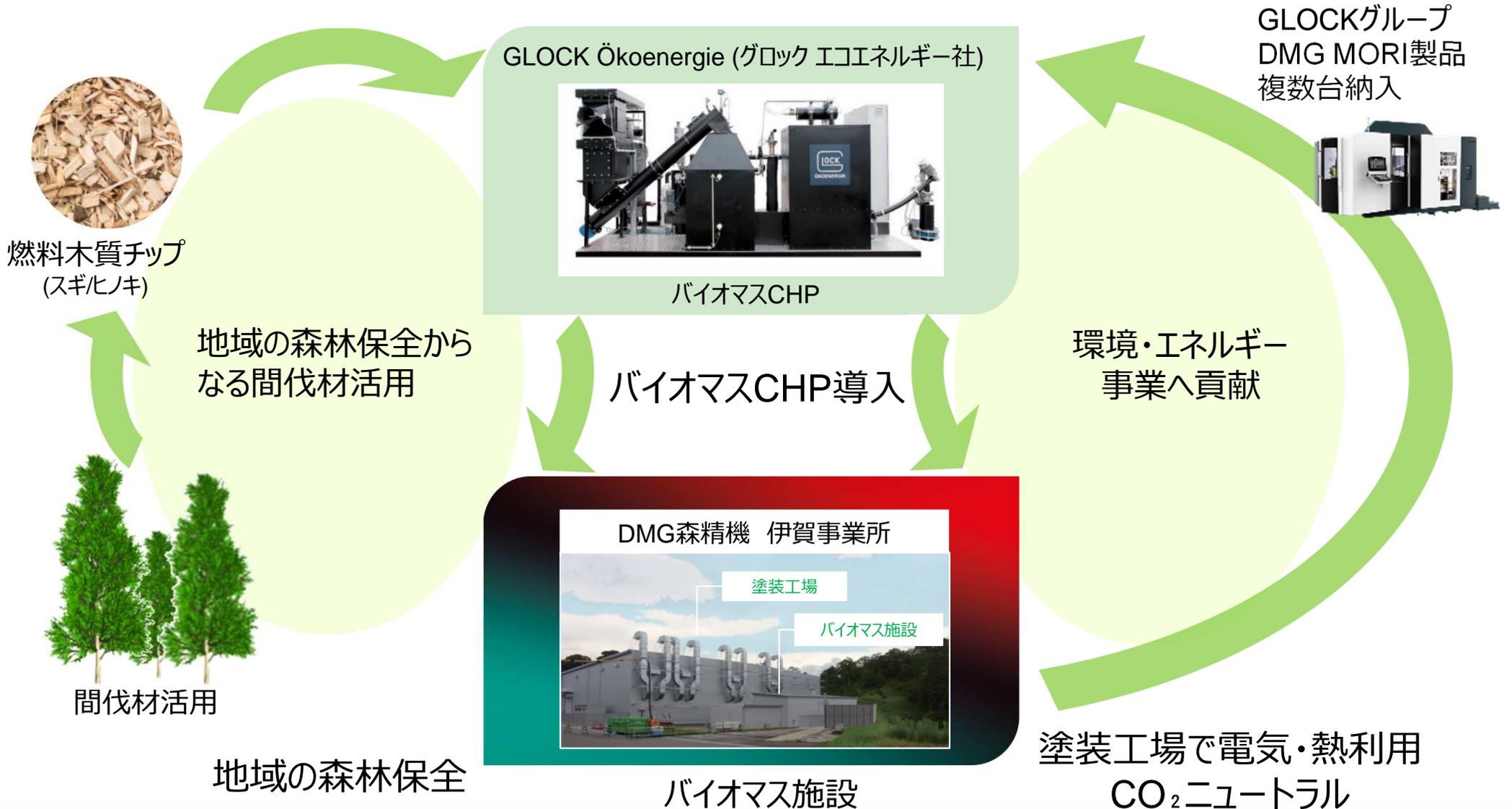


DMG MORI

- ✓ バイオマスエネルギーとして活用(CO₂排出 実質ゼロ)
- ✓ 2021年度 伊賀事業所内にバイオマス施設を設置

(注) バイオマス: 動植物に由来する有機物である資源 (化石資源を除く)

CHP : Combined Heat and Powerの略



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更